

都市再生整備計画 事後評価シート
地域拠点一宮地区

令和6年3月

愛知県豊川市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	豊川市		地区名	地域拠点一宮地区			面積	168.8ha		
交付期間	令和元年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	188.5	国費率	0.495				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	公園((仮称)大木3号公園、(仮称)大木4号公園、(仮称)大木5号公園、(仮称)大木6号公園)									
			提案事業	地域創造支援事業(安全・安心事業)・事業活用調査(事業効果分析調査事業)・まちづくり活動推進事業(公園整備ワークショップ)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	道路(市道麻生田中荒子下新切線、市道麻生田大荒子7号線) 公園((仮称)大木2号公園)			削除/追加の理由		関連事業とするため、削除する。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	道路事業を関連事業へ変更したため、目標を定量化する指標を変更【建設・整備分野に関する市民満足度の向上 従前値・目標値】
			提案事業	-			-		-			-	
	新たに追加した事業		基幹事業	-			-		-			-	
			提案事業	-			-		-			-	
交付期間の変更	当初	令和元年度～令和5年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
	指標1	地区内人口の維持	人	16,268	H30	16,268	R5	16,355 (R3)	16,895 (R5時点)	○	あり	関連する公園事業のほか、関連事業の一宮大木土地区画整理事業や豊川市拠点地区定住促進事業費補助金等による生活環境の改善や定住の促進が図られたことにより、人口の維持につながったものと考えられる。	令和6年度
	指標2	一定時間内に避難できる人数	人	5,304	H30	7,413	R5		7,782 (R5時点)	○	あり	関連する公園事業により、一時的に避難できる場所として活用可能な公園が整備されたことで、一定時間内に避難できる人数が増加したと考えられる。	令和6年度
	指標3	安全・安心分野に関する市民満足度の向上	ポイント	98	H29	659	R5	617 (R3)	1,187 (R5時点)	○	あり	関連する公園事業により、一時的に避難できる場所として活用可能な公園が整備され、地域創造支援事業(安全・安心事業)として、道路照明灯、反射鏡、防犯灯等の整備が行われたことで、安全・安心分野に関する市民満足度の向上につながったものと考えられる。	令和7年度
	指標4	建設・整備分野に関する市民満足度の向上	ポイント	-180	H29	119	R5	57 (R3)	701 (R5時点)	○	あり	関連する公園事業や関連事業の一宮大木土地区画整理事業が実施され、地域住民にとって身近な都市基盤が整備されたこと、また、公園整備ワークショップにより、公園の整備を身近なものとして認識することで、建設・整備分野に関する市民満足度の向上につながったものと考えられる。	令和7年度
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
その他の数値指標1													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 公園が整備されたことにより、市民の環境美化に対する意識啓発に繋がっている。 新たな住民を含めた地域住民による活動やイベントが開催されるなど、地域のにぎわいに繋がっている。 												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	中間年(令和3年度)に事業の進捗状況、指標の状況を確認				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● モニタリングと同様の方法でデータ収集を実施し、円滑な事後評価を実施した。			
	官民連携による取組	公園の整備に際して住民参加によるワークショップを実施し、公園に必要な機能や施設、公園と地域の関わり方、運営方法などに対する意向を把握しながら検討を実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地元町内会による管理の実施に繋げていく。			
持続的なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア・市民団体による防災・防犯及び環境美化の活動を実施 地区内の商店主等を中心としたイベント(とが楽市)を開催 				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民や組織による活動やイベントの開催が継続され、地域活動の活性化やにぎわいの創出に繋がると、支援を行う。				

様式2-2 地区の概要

地域拠点一宮地区(愛知県豊川市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 安心して子育てできるまちづくり 目標1: 地域拠点にふさわしい、コンパクトで魅力あふれる都市空間の形成 目標2: 安全・安心に暮らし続けられる生活環境づくり 目標3: 子育て世帯にとって暮らしやすい住環境の整備	地区内人口の維持	単位: 人	16,268	H30	16,268	R5	16,895	R5
	一定時間内に避難できる人数	単位: 人	5,304	H30	7,413	R5	7,782	R5
	安全・安心分野に関する市民満足度の向上	単位: ポイント	98	H29	659	R5	1,187	R5
	建設・整備分野に関する市民満足度の向上	単位: ポイント	-180	H29	119	R5	701	R5

提案事業
 事業活用調査: 事業効果分析調査事業
 【事業効果分析調査】

提案事業
 地域創造支援事業: 安全・安心事業
 【道路照明灯、道路反射鏡、防犯灯】

提案事業
 まちづくり活動支援事業: 公園ワークショップ運営費
 【公園整備ワークショップ】

関連事業
 定住促進子育て支援事業(児童クラブ室整備)

基幹事業
 公園: (仮称)大木4号公園

基幹事業
 公園: (仮称)大木5号公園

基幹事業
 公園: (仮称)大木3号公園

関連事業
 公園整備事業
 (仮称)大木2号公園

基幹事業
 公園: (仮称)大木6号公園

関連事業
 道路: 麻生田中荒子下新切線

関連事業
 道路: 麻生田大荒子7号線

関連事業
 公園整備事業(上新切中公園)

関連事業
 一宮大木土地区画整理事業

関連事業
 豊川市拠点地区定住促進事業費補助金
 豊川市都市機能立地促進事業費補助金

凡例
 基幹事業
 提案事業
 関連事業

凡例
 計画区域
 都市機能誘導区域
 居住誘導区域

(仮称)大木5号公園

道路照明灯

防犯灯

(仮称)大木3号公園

(仮称)大木4号公園

(仮称)大木6号公園

公園整備ワークショップ

まちの課題の変化

- 公園の整備によって一時的に避難できる場所が確保されることで地域の防災性が向上し、災害に対する安全性・安心感が高まった。
- 道路照明灯、反射鏡、防犯灯等の整備によって自動車の通行や歩行者の安全性、防犯に対する安心感が醸成された。
- 地域住民が気軽に利用できる公園の整備によって、散歩等の健康づくりの促進につながった。
- 公園整備によって地域の子どもの遊び場が整備されたことや道路照明灯、反射鏡、防犯灯等の整備によって自動車の通行や歩行者の安全性、防犯に対する安心感が醸成されたことで、子育て世帯にとって暮らしやすい住環境の整備に貢献した。
- 公園整備ワークショップを通じて子育て世帯のニーズを捉え、地域の子どもの遊び場となる公園の整備や関連事業の定住促進子育て支援事業による児童クラブ室の整備等により、住民満足度の向上につながった。
- 公園の整備のための公園整備ワークショップを通じ、幅広い世代での地域コミュニティの形成を推進し、すべての公園で愛護会(アダプトプログラム登録団体)が組織され、地域コミュニティの形成につながった。

■ 事業実施後の状況を踏まえた今後の課題

- 公園が整備されたことで、これまでより多くの高齢者や子どもによる公園の利用が想定されることから、交通事故や犯罪から利用者を守るため、安全・安心の向上に向けた施策の展開が求められる。
- 人口が増加したことを踏まえ、新たな居住者と従来からの居住者のつながりの形成を促進するとともに、居住者の定住促進に向け、地域活力の維持を図る必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 整備された公園や道路等地区内の施設の適切な維持管理が、地元町内会を中心とした地域で行われるよう支援を図り、愛着を醸成する。
- 整備された公園を活用した防災訓練等の実施を支援し、地域の防災力を強化する。
- ボランティア・市民団体が実施している防犯活動の実施を支援し、地域の治安の維持を図る。
- 公園の利用者の安全・安心を向上するため、ボランティア・市民団体による見回り等の支援を図る。
- 地域の魅力向上を図り、居住者の定住促進に結びつけるため、地域住民の交流や学びの拠点を整備する。